

ご利用案内

通常放映日時＝土・日・祝日

通常放映時間・内容(7月～9月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
それいけ!アンパンマン ～星空をかえせ～ プラネタリウム ちびまる子ちゃん 星にねがいを ほしのおはなし(星空解説)	アリオンとイルカ プラネタリウム ちびまる子ちゃん 星にねがいを 星空解説 ※9/19(土)の「親子プラネタリウム」 は別内容となります。	宇宙の中のわたしたち NEW HORIZONS 星空解説

※ご希望による放映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510円
高校生以上 (団体20名以上)	410円
中学生以下	無料

★博物館パスポート1枚につき、
高校生以上1名無料

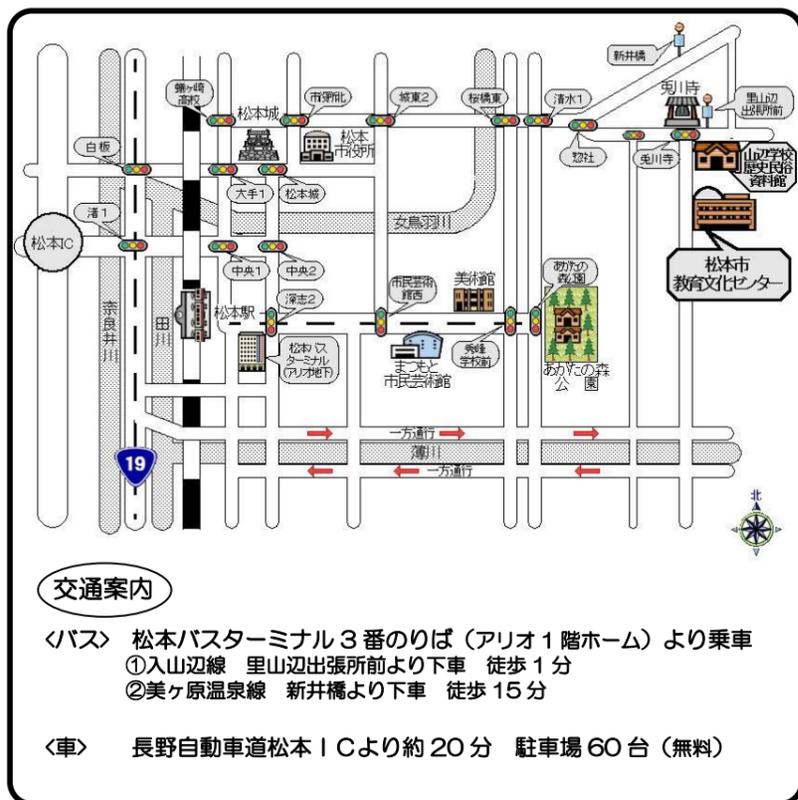
★転入世帯優待券1枚につき、
1世帯家族無料

★障害者手帳持参により、
本人とその介助者1名無料

★市内在住70歳以上の方は無料

★その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



★ 星空音楽館企画委員募集 ★

当センターで行われる「星空音楽館」の企画委員を募集しています。
 企画の参加、プラネタリウムで流す音源の選定、当日の受付などを行います。
 興味のある方は是非ご連絡ください。

松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail:kyoubun@city.matsumoto.nagano.jp

ほしみる

No.27 2015.8.28

夏の夜空の英雄・ヘルクレス座

夏の大三角が見頃を迎えています。今回はそんな夏の大三角より少し前に現れる「ヘルクレス座」についてご紹介します。ヘルクレス座は英雄ヘラクレスをモデルとした星座です。

M13

ヘルクレス座の腰のあたりにある、北半球で最も大きく明るい球状星団です。

コルネフォロス

「棍棒を持つ者」という意味をもつ3等星です。ヘルクレス座で最も明るい星です。その名の通り、棍棒をふりかざす右腕の肩の部分にあります。

ヘラクレスってどんな人?

ヘラクレスは、ギリシャ神話に登場する勇者です。非常に怪力で、多くの武勇伝があります。
 神々の王ゼウスと人間の女性との間に生まれ、12の大冒険をはじめとした多くの苦難に立ち向かい、ギリシャの勇者と称えられました。死んだ後は多くの功績により、神の一員となりました。
 ヘラクレスはギリシャ語の読み方です。星座名はラテン語で読まれるため、「ヘルクレス座」となります。
 秋の星座である「ペルセウス座」のモデルとなった、英雄ペルセウスのひ孫にあたります。

ヘラクレスと女神ヘラ

ヘラクレスの生涯はつねに苦難に満ちていました。その理由は、女神ヘラがヘラクレスを憎んでいたためです。
 ヘラは自分の夫であるゼウスが他の女との間に子を成したことを許せず、生まれたばかりのヘラクレスを殺そうとしたり、生まれる順番を遅らせて運命を変えたりと、さまざまな妨害をします。
 また、12の大冒険に出てくる怪物を差し向け、多くの苦難を与え続けました。ヘラクレスの死後ようやく許し、神となった彼に自分の娘を妻として与えました。
 ヘルクレス座が3等星以下の暗めの星々で作られ、逆さまの姿で現れるのは、ヘラの呪いがまだ残っているためだと言われています。

ヘルクレス座

ラス・アルゲティ

「ひざまずく者の頭」という意味をもつ変光星です。赤色超巨星ですが、地球からは3～4等星程度の淡い光の星に見えます。この部分がヘルクレス座の頭部に当たり、上下さかさまにひっくりかえています。

ヘルクレス座と関係の深い星座

しし座、うみへび座、かに座、りゅう座

いずれもヘラクレスの12の大冒険に登場する怪物たちをモデルとした星座です。

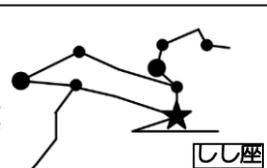
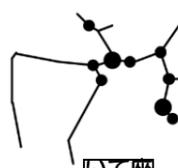
りゅう座以外は、最終的にはヘラクレスに退治されてしまいます。そのため、夏の星座であるヘルクレス座から逃げるように、それより前の春の季節に出現すると言われています。

りゅう座は北の空で一晩中見ることができます。

ふたご座、いて座

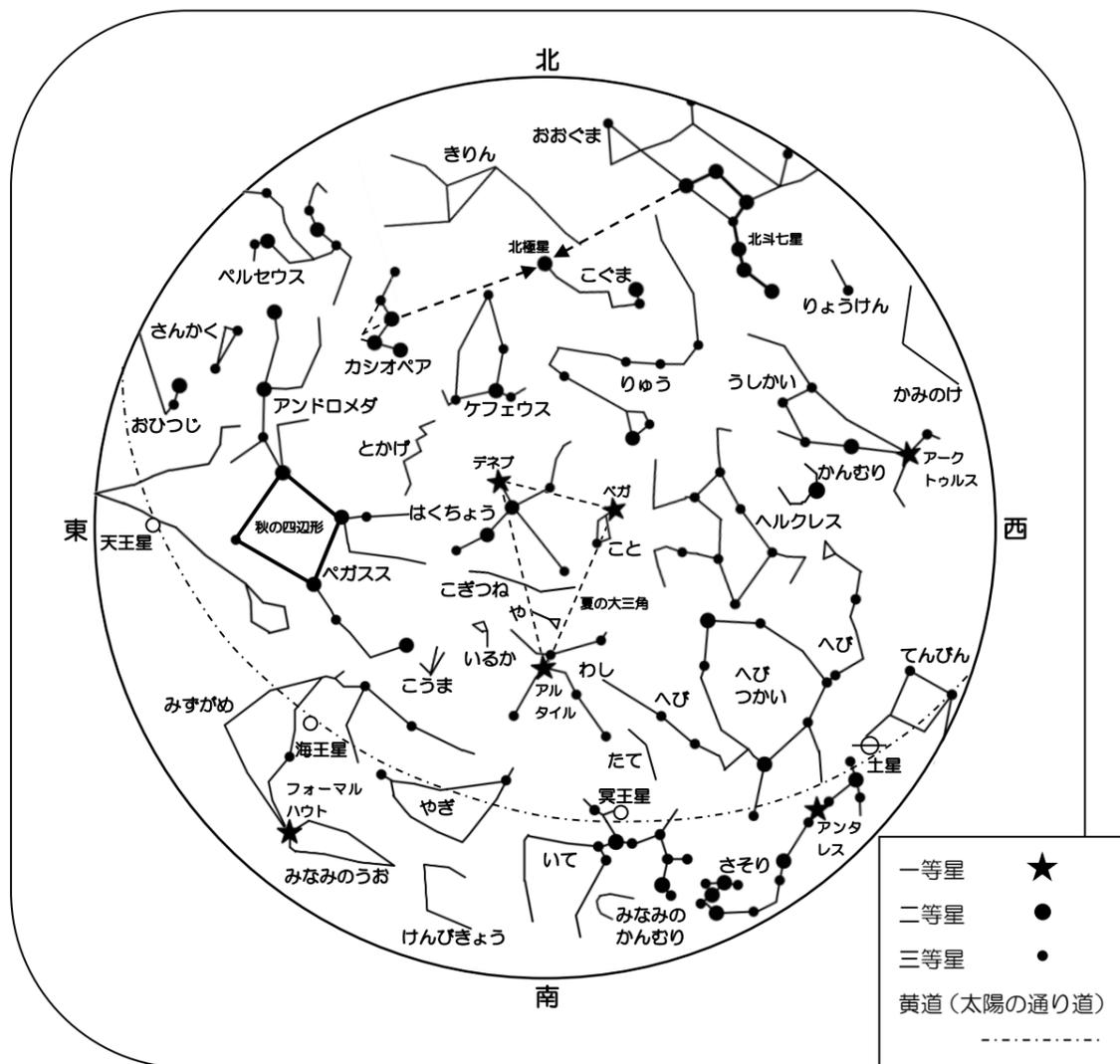
ヘラクレスは成長すると、多くの人から武術や学問を学びました。

ふたご座のモデルとなった双子の兄カストルからは武器の使い方を、いて座のモデルである半人半馬のケイローンからは武術を学びました。



季節の星空

9月15日20時頃の松本の星空



9月の主な天文情報

- 10(木) 細い月と金星が並ぶ
- 11(金) 細い月と火星が接近
- 12(土) 細い月と木星が接近
- 13(日) 新月
- 19(土) 月と土星が接近
- 22(火) 金星が最大光度
- 23(水) 秋分
- 27(日) 中秋の名月
- 28(月) 満月(スーパームーン)

中秋の名月

中秋の名月とは、秋の真ん中にあたる旧暦の8月15日に見える月のことです。旧暦では新月の日が月初めとなり、中秋の名月は新月から数えて15日目となります。今年は9月27日が旧暦の8月15日にあたります。
 一方、満月は地球からみて太陽と月が反対方向になる時を指し、必ずしも新月から15日目になるとは限りません。そのため、中秋の名月と満月が一致しない年もあります。今年の中秋の名月は、満月になる少し手前の月となります。

光度→地球から見たときの天体の明るさ。最大光度のときに最も明るく見えます。

スーパームーン

月が地球に最も近づいた時に満月、もしくは新月を迎えることをスーパームーンと言います。月は地球の周りを楕円の形で回るため、月と地球の距離は近づいたり遠ざかったりします。また、最も近づくと遠ざかる時の距離は毎回変わります。9月28日に迎える満月が、今年で最も大きい満月となります。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

- 9/12(土) ☆星空散歩・星の観望会 19:30~21:00
 天体望遠鏡を使って、季節の天文現象を観測します。
 (天候不順で観測ができない場合はプラネタリウムをご覧ください。)
 受付開始:9/5(土) 8:30より
 定員:40人(小学生以上。高校3年生以下は保護者同伴)
- 9/19(土) ☆親子プラネタリウム 13:30~
 親子連れの方を中心に楽しめるよう、番組の無料投映を行います。
 市民ボランティアの方々による手づくり切り絵「おりひめとひこぼし」を
 投映します。申し込み不要。先着90人。
- 10/4(日) ☆太陽観測 9:00~10:15
 天体望遠鏡を使って、太陽のプロミネンスや黒点を観測します。
 専用のフィルターを使用し、安全に観測できます。
 (天候不順で観測ができない場合はプラネタリウムをご覧ください。)
 受付開始:9/26(土) 8:30より
 定員:15人(小学生以上。小学校6年生以下は保護者同伴)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

学びの9月特別講演会

国立天文台副台長・教授である渡部潤一先生のお話をお聞きします。
 テーマは「宇宙生命は存在するか～天文学からのアプローチ～」です。

- ☆日時:平成27年9月27日(日) 14時~16時(開場13時30分)
- ☆会場:松本中央公民館(Mウイング)6階 ホール
- ☆定員:先着270人(インターネット170人、往復はがき100人) ☆入場料:無料
- ☆対象:小学校高学年~成人
- ☆申し込み方法:「インターネット」または「往復はがき」でお申し込みください。
 (具体的な方法はチラシをご覧ください)

宇宙企画展

- 「学びの9月特別講演会」と同時開催します。移動プラネタリウム(各回20人、投映時間20分)の他、宇宙紹介DVDの投映や、宇宙に関する写真パネル展を行います。
- ☆日時:平成27年9月27日(日)
 - ☆時間:9時~12時30分(移動プラネタリウム、宇宙紹介DVD)
 9時~16時(宇宙写真パネル展)
 - ☆会場:松本中央公民館(Mウイング)6階 ホールおよびホワイエ ☆入場料:無料